
風来坊

地雷原

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風来坊

【Nコード】

N8308Y

【作者名】

地雷原

【あらすじ】

主人公は転生者。神様とかチートとか無い感じの転生者。

事故で死んで、輪廻転生の流れに従い、異世界で目覚めた彼の目には
鬱蒼と生い茂る密林が入り込んできました。

彼曰く「転生してすぐ密林とか冗談じゃない」

よくある学園ファンタジーの世界に飛び込んだイレギュラー。彼は異世界でどのようにして生きていくのか。

ブローグ

走る。

走る走る走る。

駆ける。

駆ける駆ける駆ける。

息せき切って、全速力で、無我夢中に森を走り抜ける。

心臓の鼓動が耳に響く。大きな音で煩いほどに。

走る足が、振る腕が、呼吸する胸が、悲鳴を上げる。

苦しい。

まるで重い鎖に縛り付けられたように、思うように手足が動かない。

仲間を見捨ててまで自分はひた走る。

自分の後ろにはモンスターと闘う無謀で、蛮勇で、英雄な級友。

咆哮と魔法発動時特有の不協和音。鉄と鉄とが削りあう鈍い音が

ここまで響いてくる。その音に後ろ髪を引かれる。だけど、自分は死にたくは、ない。

死にたくない。死にたくないんだ。

こんな世界でも、俺は死にたくない。

仲間を見捨てても、生きたい。

本当にそうか…？

心のどこかで疑問が浮かぶ。

思わず足を止める。

もう音は届いてこない。……いや、わずかに響く最期の足掻き。

ごめん、と呟く。

どうせ無理だったんだ。あんな化け物に敵いつこない。俺が居て

も無理だったさ。そうだ、俺は悪くない。あいつらは自分から死に行っただんだ。

自分で自分を擁護する。

それは本心じゃない嘘の言葉。
だけど自分にはそれで十分だ。
生きるためには十分だ。

後悔するには十分だ。

後戻りするには十分な理由だ。

気付くと俺は来た道に戻っていた。

さっきまで重かった手足は嘘のように軽い。

重く押し掛かった重圧は霧消していた。

自分の行動を振り返り自嘲する。

尻尾巻いて逃げて、都合の良いタイミングで再登場。

莫迦莫迦しい。

多分主人公は苦境に立たされているんだろう。

御都合主義も良い所だ。

キャラのブレまくりも良い所だ。

駆けて駆けて駆けて。

走って走って走って。

ひらけた、俺が逃げた場所に着く。

少し離れた場所には回復役が、今近くの木に叩きつけられたのは

短剣ダガーマン使い。

そして、化け物電を目の前にして満身創痍な剣士主人公。

その化け物電は今にも鋭い爪を振り下ろす直前だった。くらえば一
たまりもないであろうその一撃を。

俺は跳んだ。

跳躍してその腕を蹴り飛ばす。

その腕は逸れて地面を深く抉るだけに留まった。

想定外の事象に戸惑う竜目掛けて空中で何度も蹴りを繰り出す。

小型の竜であったことが幸いし、顔に攻撃が命中する。

雷で加速して、風で切り刻む。

顔面を傷付けられた竜は仰け反り隙を生む。

その僅かな隙を突き、剣士が渾身の一撃を繰り出した。

竜の腹から鮮血が舞う。

勝った。なんだ、意外と闘えるじゃないか。

俺は戦いの最中に油断した。致命的な、失敗を、犯した

視界がぶれる。右側面に衝撃と痛み。

竜に殴られたのだと理解した。

地面に叩きつけられて、木の葉の様に無様に吹き飛んだ。口内に

鉄の味を感じる。内臓がやられたと知覚する。

うめきながら起き上がろうとするも腕に力が入らない。入っても

なんとか仰向けになる程度。

たったの一撃で戦闘不能。なんて足手纏いなんだ。嘲笑がこみ上

げて来る。

掠れる視界に映るのは俺に駆け寄ろうとする剣士と、怒りで目の

色が変わった双角の竜の顎がこちらに迫ってくる情景。

こんな所で俺の人生は終わるのか。

記憶が暗転した後には轟音が響いたのを俺の耳は捉えていなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8308y/>

風来坊

2011年11月24日20時55分発行